学校番号	3001

令和８年度　農業科（フラワーファクトリ科・バイオサイエンス科）

教科	農業	科目	造園基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りには安らぎの空間である庭園、公園、緑地等が欠かせません。これらの造園空間を創造し維持管理するためにはどのような材料や技術が必要なのでしょうか。この科目では造園の施工と管理に関する基礎的な知識や技術を学びます。実習を通じて造園に関する基本的な技術を学び、実際の庭づくりに応用できる技能を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
フラワーファクトリ科、バイオサイエンス科の生徒が、環境緑化科の授業を受講することで、基礎的な造園の知識と技術を習得させ、造園の特質を理解させるとともに、合理的に施工し、維持管理する能力と態度を育て、各分野における農業の可能性を広げる。
【思考力、判断力、表現力等】
造園空間の創造や維持管理に必要な材料や施工法に関する基礎的な知識と技術を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】
造園の特性や目的を踏まえて、合理的に施工や管理を行える技能と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造園の基礎的な知識及び技術について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を付けている。また、農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習し、自ら考え状況に応じた取り組みができている。	造園について目的や環境に応じた合理的な施工と維持管理につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	造園の特色と役割、造園植栽管理	造園の特色 造園の役割 植栽管理 芝生管理	a:造園に関する基礎的な知識をもって適切に対応する姿が見られる。造園に関する有用な情報を選択し活用している。 b:造園に関する基礎技術を身につけ、状況を判断して適切な管理を行える技能と態度が身についている。 c:造園について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 レポート等の課題内容	学習状況の観察 課題の達成状況	学習状況の観察 ノートの記述内容
2学期	造園施工	園路工 竹垣工 敷石工 測量・地割	a:様々な造園施工に関する基礎的基本的な知識・技術をもって適切に活用している。 b:様々な造園施工技術に関する基礎技術を身につけ、状況を判断して適切に技術を応用・活用できている。 c:造園施工について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 レポート等の課題内容	学習状況の観察 課題の達成状況	学習状況の観察 ノートの記述内容
3学期	造園植栽工	植栽工 花壇等の造成・管理	a: 様々な造園植栽技術に関する基礎的な知識・技術をもって適切に対応する姿が見られる。 b:様々な造園植栽技術に関する基礎技術を身に付け、状況を判断して適切に応用・活用できる。 c:造園植栽について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 取り組みについてのレポート	学習状況の観察 課題の達成状況	学習状況の観察 ノートの記述内容

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度